

1. 学校マネジメントの深化

【観点Ⅳ】「学校・家庭・地域による目標の協働達成」

取組実践校：中津市立津民小学校(児童数5名 3学級)

教職員が入れ替わっても「子ども中心」の持続的・発展的な取組！

「家庭との『個人カルテ』共有と地域と連携した教育課程で目標協働達成」

- ①一人ひとりの児童の成長や支援を職員・家族で共有できる「短期、中期・長期」の「個人カルテ」を活用している。
- ②地域と連携した教育課程を編成し、児童が「言語能力」の大切さや伸びを実感することができる。

短期用

具体的な取組①

個人カルテ(算数科)	年
単元	領域
目標	
しディネステス結果	点
指導・支援(手立て)	見取りの視点
指導内容	ドリル
指導方法	指導
【気づき・授業中等の記録】	
単元末テスト結果	知・理 考え方 その他
成果と課題	
振り返りテスト	1回目 2回目 3回目
系統表でのさかのぼり	

単元を通した
P: 個に応じた「目標設定」
D: 「手立て」や「授業の記録」
C: 単元テスト等で確認
A: 課題から次期「手立て」へ

子どもの姿から単元を構想

カルテ記入が負担とならないよう「加筆・修正」を基本とする

つまずきがある場合は「振り返りマップ」活用

3年	4年	5年
「たいせつ」のまとめ 3年 ⑥ ・話を聞いて、質問する。 ・案内の手紙を書く。 ・組み立てを考えて、報告する文章を書く。 ・段落とその中心をとらえる。 ・場面の様子や、登場人物の気持ちを想像する。 ・登場人物の変化に気をつけて読む。 <考えや気持ちを伝える言葉> (人物を表す言葉)	「たいせつ」のまとめ 4年 ⑤ ・聞きながら、メモを取るとき、手紙で気持ちを伝える。 ・事実をわかりやすく伝える。 ・筆者の考えをとらえる。 ・場面と場面のつながりを考える。 ・特別な言葉に着目する。	「たいせつ」のまとめ 5年 ・「きくこと」で理解しあう。 ・立場の違いを明確にして、計画的に話し合う。 ・説得力のある提案をする。

自分の課題に応じたプリントを選択



具体的な取組②

「言語能力」の大切さや伸びを実感する
 地域と連携した教育課程を編成

個人カルテ【中・長期】	()年 名前()	【令和2年度 6月作成】
現在の様子(子どもの表紙)	目標(ゴール)○児童	評価【一学期】(成果と課題)
学習	指導・支援(手立て) 《学校での支援》 《家庭への支援》	《課題》
行動	《学校での支援》 《家庭への支援》	
対人関係	《学校での支援》 《家庭への支援》	
体力	《学校での支援》 《家庭への支援》	

児童の学校における成長の様子を家庭と共有

中・長期用

「学校での支援」と「家庭への支援」を学校・家庭で共有し、『子ども中心』の目標協働達成を推進



運動会での発表



ふるさとまつりでの発表